



特定非営利活動法人

フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

2012年度 事業報告書

◆FTCJ 事務局◆

〒157-0062 東京都世田谷区南烏山 6-6-5 安藤ビル 3F

TEL&FAX:03-6321-8948

Email:info@fcj. com

URL:http://www.ftcj.com

NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン

2012 年度事業報告書

2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日まで

1. 2012 年度 事業を実施して

▼はじめに

NPO 法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン(FTCJ)は、専従スタッフ 3 人、非専従スタッフ 3 人、インターン 9 人、その他、定期的にオフィスに来て作業をして下さるボランティアやメンバーの皆さんに支えられ 2012 年度の事業に取り組むことができました。それにより、2012 年度の課題の一つであった「子どもメンバーや若者に向けたサポートを充実させ、活動をエンパワーメントする。」に取り組む、ある程度成果をあげることができました。具体的には、世田谷区の公立学校を始めとした東京都内の学校や他組織との連携によるワークショップや、日本国内での Take Action Academy を実施しました。今まで公立学校へ出張講演については経費の問題で実現が難しかったのですが、2012 年度は助成金による支援によって 15 校への公立学校を訪問することができました。また、出張講演の体制を整えるために、教材開発及びファシリテーター育成にも取り組み、大学生などのユースメンバーを新たに受け入れ、彼らの力に助けられました。

また、多くのご支援に支えられ、インドやハイチ、フィリピンで新たに学校建設に着手することができ、東日本大震災支援として、相馬市の小学校への支援を実施することができ、目に見える成果を残すことができました。ご協力下さったみなさまに、改めて感謝申し上げます。

スタッフやメンバーが増え、事業の活性化がみられたことは喜ばしいことですが、活動に係る人数が増加したことに並行して組織としてのルール作りの必要性についても改めて認識した年でした。FTCJ 事務局として、より良い事業の遂行のため理事を始め、スタッフ、メンバー、ボランティアなど FTCJ に係る各人が、チャイルドプロテクションを第一に考え、相互に尊重し合い、一人一人が楽しく活動できるよう内部規約を見直し、新たなルールの制定などを行いましたので、2013 年度より徹底、機能させていきたいと思っております。

▼2012 年度 活動のハイライト

1. 子どもメンバーや若者に向けたサポートを充実させ、彼らの主体的な活動の涵養

→学校や他組織との連携によるワークショップやスピーチを 8,320 人に対して実施しました。また、ファシリテーター育成講座を通じて、ユース層の協力を得て、日本国内での Take Action Academy を 30 人の参加者に対して行いました。2012 年度を通じて、347 人の新規メンバーの登録があり、子ども及びユースメンバーは 800 人になりました。

2. 海外自立支援事業の拡充を行い、より多くの途上国の子ども支援を実現

→2012 年度を通じて、フィリピン、インド、モンゴル、ケニア、ハイチに対して支援事業を行い、14,800 人の子どもとその家族に対して直接支援を行いました。

3. 組織の業務体制と中長期計画の見直し

4. 認定 NPO 法人に伴う会計作業フローの明確化と堅調な対応のための体制強化

その一方で、取り組みなかつたり、次年度へ繰越となつたりした事項もありました。具体的には、

- ・児童館や商店街など学校以外の幅広い地域との連携構築
- ・サポーター(キッズパワー募金)の広報の充実と獲得
- ・ミンダナオ島(フィリピン)の先住民族コミュニティでのデイケアセンター(幼稚園)建設の完成

上記 2012 年度中に実施できなかった事項については、2013 年度に取り組む課題として引き継ぎ、ビジョンの実現に向けた良質な活動と組織運営を進めていく所存ですので、どうぞご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

代表理事 中島早苗

1) 子ども主体事業

担当: 子ども代表委員 2012

◆子ども代表委員 2012(5人)

林 優花 (高校3年生)
 西野 彩紀 (高校2年生)
 上野 勇葵 (高校1年生)
 賀来 ゆり恵 (高校1年生)
 佐光 真結子 (高校1年生)

◆事業の目的と役割 と 活動内容

*目的・役割:

すべての子どもメンバーが安心して楽しく活動のできる環境づくり。イベントを企画・運営をするというよりかは、活動チームと地方や活動チームと新しいメンバーの仲介人をする事。

*活動内容

1. ハロウィン募金の開催

- ・ねらい: 全国で同時期に募金活動を行い支部間の連帯感を高めるために実施した。
- ・時期: 10月下旬(広島)と11月上旬(東京)に開催。
- ・内容: ハロウィンのコスチュームに仮装し、インド学校建設のための募金活動をした。

2. 活動ヒント講座にて、新メンバーへのアドバイス、サポート

- ・時期: 通年
- ・内容: 活動ヒント講座に来てくれたメンバーに同じ子どもメンバーとしてアドバイス。そのメンバーにおすすめのチームやアクションの起こし方などを説明。

3. TAAJ(テイク・アクション・アカデミー・ジャパン)

- ・時期: 3月27日～30日の間で開催。
- ・内容
 - ・参加メンバー同士の親睦を深めるためのアクティビティの企画、運営
 - ・FTCJのメンバーの活動を紹介、説明
 - ・地方メンバーへチョコプロの活動を紹介
 - ・子ども代表委員の1人の発案により、フラッシュモブチームの結成(現在活動中)

◆1年をふりかえって / 感想: 子ども代表委員 林 優花

今年の子ども代表委員は全員意識が高く、話し合いをするにしても、活動をするにしても、とても円滑に進めることができましたと思います。今年から子ども代表委員の活動の形態が一気に変わったため、昨年から続けてやっていた私は少し戸惑いましたが、他の代表委員のメンバーにとっても支えられました！子どもだからこそ柔軟な発想で、子どもらしく、楽しく活動ができた一年でした！

ミーティングなどで、みんなはっきりと自分の意見を言える、主張ができる、そういった面でとても雰囲気の良い子ども代表委員だったと思います。意見のぶつかり合いや、みんなで乗り越えなければならないトラブル、全国にいる子どもメンバーへの配慮など、大変なこともたくさんありましたが、それによってとても成長することができました。これからもさらなる成長のために様々な活動をしていきたいと思っています。2年間、子ども代表委員として活動できてよかったです！スタッフをはじめ、子どもメンバーの活動をサポートしてくださった皆さん、ありがとうございました！

私は大学生になってしまったので、子どもメンバーとしてはもう活動することはできませんが、ユースメンバーとしてこれからもFTCJの活動を続けていくとともに、ユースメンバーの活動をもっと活発なものにしていきたいです！

2) 子ども活動応援事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

- 1) 国内の子どもが、世界の開発途上国で見られる児童労働など苛酷な状況に置かれている子どもの現状を学び、問題を解決するための支援活動の企画・実行を主体的に行えるように育成する。
- 2) 国内外の子どもの権利の擁護を求め、子ども参画を果たすための子どもによる活動のサポートを行う。そのために
 ー育成事業 アカデミー(リーダーシップトレーニング)企画実施、カナダでのワークショップ開発・海外研修
 ーメンバーサポート 子ども主体事業サポート及び全国のメンバーの活動サポート を実施しました。
- 3) 東日本大震災支援ー特別子ども支援

活動	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数
①アカデミー企画実施	FTC カナダが行う Take Action Academy (夏にトロントで実施されている子ども・若者向け1週間のリーダーシップトレーニング・プログラム)に日本の子ども若者が参加できるよう企画運営。また、日本の参加者には英会話習得のための特別プログラムをカナダで用意して約2週間実施。	8/2～8/13	Toronto 郊外、Me To We Leadership Centre	2人	14人
	Take Action Academy Japan の企画実施。日本にいる子ども若者が社会問題を知り、その解決に向けて自らがアクションを起こし、より良い世界のために活動するためのノウハウを学ぶ3泊4日で行われる合宿型ワークショップを実施。	3/27～30	事務所	3人	29人 (スタッフ15人)
②子ども主体事業サポート	子ども代表委員による企画事業へのサポートを実施。	通年	事務所	1人	子ども代表委員、子どもメンバー
③子どもメンバー活動サポート	メンバー登録をした子ども達へイベントや活動の情報を定期的に流したり、電話やメール、オフィスでの対応を通じて子どもメンバーが主体的に活動できるようサポートを実施。 活動ヒント講座を毎月1回開催。	通年	主に事務所	3人	全国の子どもメンバー 400人
	メンバーによって構成されている活動チームへのサポートの実施。活動チームに所属する子どもメンバーに、グループの運営の仕方、企画書の書き方や、電話のかけ方、プレスリリースやチラシの作成など広報について日々サポートを実施。 【活動チーム】 アクションキッズ(演劇を通じて活動をするチーム) 子ども記者、チョコプロ、アートキッズ、アンバサダーチーム、English チーム、募金チーム、イベントチーム(ミシェル招へいチーム)、ミニ WEDAY チームなど	通年	主に事務所	3人	チームに所属するメンバー
東日本大震災子ども支援	東日本大震災を受け、FTCJ では被災地域に暮らす子どもを支援するため、相馬市立中村第二小学校に現地に古くから伝わる原釜太鼓セットを寄贈しました。	2012年12月	相馬市立中村第二小学校	1人	相馬市立中村第二小学校全校生徒

【活動ご協力のご紹介】

◆活動費助成協力:

三菱 UFJ 国際財団 (Take Action Academy Japan)、外務省主催 NGO インターンプログラム(公益社団法人青年海外協力協会)、世田谷国際交流基金(活動ヒント講座)

◆寄付協力: 株式会社チャンピオン(東日本大震災支援)

3) 外部ネットワーク事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

様々なセクター、組織とつながってネットワークを構築、協働し FTCJ のビジョン、ゴールを実現することを目指す事業です。

＜2012 年度参加・構築したネットワーク＞

- ・ JNNE(教育協力 NGO ネットワーク): 開発途上国の子どもへの教育支援を行っている NGO によるネットワーク。登録団体間での情報交換、勉強会を実施しています。また、外務省との意見交換や政策提言なども行います。ネットワークで行うキャンペーン「世界中の子どもに教育を」キャンペーン」にも 2012 年度も運営委員として参加しました。世界の全ての子どもへの良質な基礎教育提供を目指し、世界の EFA(万人のための教育)運動とつながって国内でのアドボカシーや政策提言などのキャンペーン活動を行っています。JNNE 加盟団体などで実行委員会を構成し、実施しています。
- ・ 児童労働ネットワーク(GL ネット): 児童労働の廃絶に向け、勉強会、キャンペーンなどを行っています。児童労働問題に取り組む NGO、労働組合、その他非営利組織、個人で構成されており、FTCJ は運営委員団体として参加。
- ・ 日比 NGO ネットワーク(JPN): フィリピンでの開発支援活動を行う日本の NGO とフィリピンの NGO によるネットワーク。フォーラムや外務省との懇談会、団体間での情報交換を実施しています。
- ・ 「国連子どもの権利委員会に個人が申し立てできる制度を作ろう！キャンペーン」へ参加し情報交換、活動を実施。
- ・ 「動く→動かす」への賛同団体としてネットワークに参加し、活動を実施。
- ・ その他非営利組織への会員登録や他団体との協力
より良い事業運営のため JANIC、DEAR、なんとかしなきゃ！プロジェクトなどへの団体会員登録や、活動への参加。

＜ネットワーク構築事業による活動一覧＞

ネットワーク名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	参加対象者の範囲・人数
JNNE/ 世界中の子どもに教育を キャンペーン	「震災から見えてきた教育の大切さ」をテーマに教材が作られ、日本の小中高校大学 502校 校の 55,485人が授業に参加。	4月～ 6月	中学校、 事務所	2人	300人
	4/24に西野彩紀さん、齊藤初雲さん、大竹春菜さん、城田瑞樹さん、林優花さん、齊藤理木さんが子どもメンバーを代表して「先生」、国会議員 17 名、議員代理9名に対して、途上国の子どもの教育をテーマに授業を行った。JNNEからはNGOの提言などを伝えた。		国会議員、 外務大臣 などへの 政策提言	2人	5人
	6/19に西野彩紀さん、城田瑞樹さん、林優花さん、齊藤理木さんが子どもメンバーを代表して外務省を訪問し、「世界一大きな授業」に参加した全国の子どもたちから寄せられた首相宛のメッセージカードを日本政府に届けた。				
CL ネット	5/5～6/30 にかけて「児童労働反対世界デー・キャンペーン 2012」を開催。児童労働ネットワークの 22 会員団体及び 14 のキャンペーン賛同団体により、期間中イベントが開催され、多くの参加を得た。FTCJは元少年兵ミシェルを招聘し、各地で講演会を開催した。(詳細は別添)また、東京と大阪・御堂筋での児童労働学習会とウォークを企画、準備、運営を実施した。 2012 年は新しい企画として Youtube にキャンペーンオリジナル動画を投稿し合計で 2,484 回再生されました。 6 月 10 日(日)に文京学院大学仁愛ホールにて、NGO-労働組合国際協働フォーラム、ILO 駐日事務所、児童労働ネットワークの三者共催で「ぼくは 5 歳で兵士になった～元子ども兵士が語る最悪の児童労働～」を開催した。総勢約 60 名のスタッフで運営し、参加者は過去最高の 664 名を記録した。	5/5-6/30	全国	5 人	400 人 (FTCJ イベントのみ)
	2007 年度から実施している署名活動を今年度も実施した。「児童労働をなくそう！ 10 万人署名」を 2012 年 5 月 5 日～7 月 31 日に呼びかけ、28 万 5140 筆の署名を集めた。その後 9 月に内閣府、外務省、文部科学省、厚生労働省、経済産業省の各大臣又は副大臣へ署名を提出し、要請を行った。その後 12 月 27 日「児童労働撤廃行動計画の提案」について、厚生労働省より回答が届いた。	10 月	各省庁へ 訪問	2 人	—

	児童労働に関する学習会を実施	通年	総評会館	1人	-
日比 NGO ネットワーク	フィリピンのより良い開発支援のためのネットワーク間での話し合いや、外務省との連携。今年度はフィリピンの GGP(草の根・人間の安全保障無償資金協力という在外日本大使館が担当する途上国援助をするための ODA の一つのスキーム)の現地事業評価を行い、外務省に対して提言を行った。	通年	事務所、東京	1人	フィリピンの人々
子どもの権利委員会に個人が申し立てできる制度を作ろう！キャンペーン	2011年12月に国連総会で採択された新議定書が、より各国に受け入れられ、機能するための活動を行った。具体的には、子どもが理解しやすいようなパンフレットの作成や、新議定書が日本政府による署名・批准の実現に向けてキャンペーンを行った。	通年	事務所、東京	1人	日本にいる子ども
動く→動かす	00年国連ミレニアム・サミットで、世界の貧困問題を解決するために、15年までに達成すべき目標として「ミレニアム開発目標」(Millennium Development Goals: MDGs)が掲げられたことを受け、この MDGs を達成し、世界の貧困問題解決に向けた取り組みを日本から作り出すことを最大の目標として活動するネットワーク。2012年10月1~17日 STAND UP TAKE ACTION が行われ、1143件2万9614人が参加した。	10月	事務所、東京	2人	世界の貧困下にいる人々

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

4) アドボカシー事業

目的: 国際問題や権利を奪われた子どもの現状を様々な方法で伝え、多くの人に知ってもらうことで問題解決につなげる。主に関東と関西で事業を展開しています。

内容: ニュースレター発行、ホームページ構築・更新、出版、資料開発、物販(フェアトレードチーム)、イベント実施、スピーカー派遣など

事業名	内容	作業実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
イベント出展 ・ スピーカー派遣 (学校への出張講演含)	【ひばりが丘パイルチャーチ】スピーチ、児童労働シミュレーションカードゲーム、Gift + Issues = Change	4/3	東京都西東京市	1人	15人
	【Vital Japan 101st Meeting】英語での講演: 楽しんでより良い世界を作っていく方法	4/21	東京都千代田区	2人	150人
	【立命館宇治高等学校】インドの初等教育の現状について、FTCJの活動紹介	4/25	京都府宇治市	2人	393人
	【SYD(公益財団法人修養団)】世界の現状についてフリー・ザ・チルドレンの活動について、私たちにできること等	5/18	東京都渋谷区	7人	20人
	【田園調布雙葉高校】子ども兵士、FTCJの紹介	6/8	東京都世田谷区	2人	400人
	【Wesley Foundation】子ども兵士、FTCJの紹介	6/8	東京都港区	5人	50人
	【NTT 労組「児童労働撲滅キャンペーン in 北海道」子ども兵士、FTCJの紹介、ブースにて物品販売	6/2	北海道札幌市	6人	100人
	【児童労働反対世界デーイベント「ぼくは5歳で兵士になった ~元子ども兵士が語る最悪の児童労働~」・アクションキッズによる劇、スピーチ、パネルディスカッション	6/10	東京都文京区	12人	500人
	【尚綱学院大学チャペル】子ども兵士、FTCJの紹介	6/11	宮城県名取市	2人	60人

イベント出展 ・ スピーカー 派遣 (学校への 出張講演含)	【尚綱学院中等高等学校】 子ども兵士、FTCJ の紹介	6/11	宮城県 名取市	3人	100人
	【加藤学園暁秀中等高等学校】 子ども兵士、FTCJ の紹介	6/12	静岡県 沼津市	3人	60人
	【浜松海の星高校】子ども兵士、FTCJ の紹介	6/12	静岡県 浜松市	3人	430人
	【元子ども兵士ミシェルと語ろう！ぼくたちにできること】 子ども兵士、FTCJ の紹介(通訳 齋藤理木)	6/12	東京都 世田谷区	12人	80人
	【都立農芸高等学校】ミシェルスピーチ、FTCJ 紹介	6/13	東京都 世田谷区	3人	144人
	【横浜雙葉高等学校】子ども兵士、FTCJ の紹介	6/14	神奈川県 横浜市	1人	360人
	【茗溪学園】ミシェルスピーチ(通訳中越亜理紗)、FTCJ 紹介	6/15	茨城県 つくば市	2人	100人
	【洗足学園中学校・高等学校】 子ども兵士、FTCJ の紹介	6/15	神奈川県 川崎市	2人	250人以上
	【アムウェイ・プラザ福岡】 子ども兵士、FTCJ の紹介	6/16	福岡県 福岡市	2人	40人
	【町田市立真光寺中学校】児童労働と貧困の現状と体 験、そして、私たち子どもに出来る事	6/16	東京都 町田市	6人	30人
	【横浜雙葉高等学校】1. NGO 活動を行っていく上での 心がけについて 2. 実際に行動を起こしていく時の注 意点 3. 高校生ができる国際協力とは	7/9	神奈川県 横浜市	3人	200人
	【和光小学校】まず世界の現状を知って欲しい FTCJ で はこういう事をしているという紹介	7/9	東京都 世田谷区	4人	6年生 85人
	【神奈川県立神奈川総合高等学校】児童労働につい て、英語でのワークショップ	7/20	神奈川県 横浜市	3人	25人
	【 SHIBUEN2012 ~ SHIBUYA ENTERTAINMENT FESTIVAL-Heal the world, Heal the Children~】社会的 問題に意識を高めるライブイベント、スピーチ	8/22	東京都 渋谷区	5人	100人
	【加藤学園暁秀高等学校中学校】 セーフスペース、○ ×ゲーム、ワールドマップ、児童労働脱出ゲーム、共感 スター、GIC(全部英語)	8/28	静岡県 御殿場市	1人	47人
	【KiddyCAT English School (アルク)]子供が楽しく世界 のことを学べ、関心を持つような体験型のワークショッ プ。	9/2	東京都 練馬区	1人	20人
	【千代田高等学校】世界の現状と私たちに出来ること	9/7	大阪府 河内長野市	2人	45人
	【立命館守山高校】児童労働と児童労働の子どもの人 生について学ぶ	9/8	滋賀県 守山市	2人	271人
	【和光小学校保護者の同好会「くらしとれきしを考える 会」]まず世界の現状を知って欲しい FTCJ ではこうい う事をしているという紹介	9/21	東京都 世田谷区	1人	20人
	【グローバルフェスタ】国際協力イベントに参加し国際問 題を学ぶワークショップの実施やフェアトレード商品や書籍販売	10/6	東京都 日比谷公園	20人	1,000人
	【世田谷区立桜丘中学校】世界の子どもたちについて 講演会、活動ヒントワークショップ	10/13	東京都 世田谷区	3人	140人
	【世田谷区立桜丘中学校】ブース出展、ワークショップ	10/27	東京都 世田谷区	6人	全校生徒、保護 者など
	【神奈川県鎌倉市立腰越中学校】福祉講演会 ・児童労働と貧困問題について・現在自分達がおかれ ている環境を改めて考え直すきっかけになる内容	11/1	神奈川県 鎌倉市	2人	生徒全校約 320 +教職員+ 保護者
	【東京学芸大学附属国際中等教育学校】世界の現状と 私たちに出来ること	11/8	東京都 練馬区	1人	25人
【東京学芸大学附属国際中等教育学校】世界の現状 と私たちに出来ること	11/15	東京都 練馬区	2人	25人	
【 TEDxYouth@Tokyo】 invention,innovation, inspiration についてのワークショップ	11/18	東京都 港区	1人	80人	

	【能勢地域小中高一貫教育・連携型中高一貫教育 研究発表会】1. 児童労働の紹介2. FTC、FTCJの紹介 3. 自分が好きな事、得意な事を使って問題を伝える方法、募金を集める方法の紹介	11/21	大阪府 豊能郡	1人	30人
	【和光学園 和光中学校】児童労働問題、貧困、差別の現状 等	12/4	東京都 町田市	2人	160人
	【練馬区立光が丘第四中学校】世界の現状と私たちに出来ること	12/8	東京都 練馬区	2人	186人
	【都立田園調布高等学校】 FTCJ の活動内容、ガーナの話	12/13	東京都 大田区	2人	240人
	【大阪府立豊野町立光風台小学校】 学ぼう・感じよう・世界の子どもたち	12/17	大阪府 豊能郡	1人	120人
	【大阪府立能勢高校】世界の貧困そして児童労働について	12/18	大阪府 豊能郡	1人	53人
	【能勢町立東中学校】世界の貧困と児童労働撲滅に対して自分ができること	12/19	大阪府 豊能郡	1人	62人
	【狛江市立和泉児童館】世界の現状と私たちに出来ること	12/22	東京都 狛江市	2人	100人
	【慶應義塾高等学校】スピーチ、見ざる言わざる聞かざる、GIC(英語)	1/18	神奈川県 横浜市	1人	32人
	【Vital Japan】「社会をチェンジする！ - 人を魅了し、伝える技術」	2/2	東京都 千代田区	1人	200人
	【中野区立第五中学校】「貧しくて学校に行くことができ ていなかった子どもに英語で手紙を書こう」ワークショップ	2/9	東京都 中野区	3人	100人
	【聖学院中学校・高等学校】FTCJ 活動紹介	2/9	東京都 北区	2人	40人
	【練馬区立大泉第二小学校】児童労働や貧困の実態を 知り、自分たちに出来ることを考える	2/14	東京都 練馬区	2人	138人
	【東大和市立第三小学校】世界の現状と私たちに出来る こと	2/15	東京都 東大和市	1人	47人
	【東京都立六本木高等学校】世界の現状と私たちに出来る こと	2/26	東京都 港区	4人	140人
	【調布市立若葉小学校】世界の現状と私たちに出来る こと	2/27	東京都 調布市	5人	106人
	【多摩市青陵中学校】スピーチ、児童労働シュミレーション ゲーム、TAAC 紹介スピーチ	2/27	東京都 多摩市	3人	130人
	【横浜市立藤の木中学校】スピーチ、児童労働シュミレ ーションゲーム、GIC	2/28	神奈川県 横浜市	2人	214人
	【世田谷区芦花中学校】スピーチ、ワールドマップ、児童 労働シュミレーションゲーム、見ざる言わざる聞かざる	3/5	東京都 世田谷区	1人	83人
	【世田谷区梅丘中学校】世界の現状と私たちに出来る こと	3/9	東京都 世田谷区	1人	120人
	【板橋区立立志村第五中学校】世界の現状と12歳のN GO設立物語	3/13	東京都 板橋区	2人	266人
	【Wesley Foundation】子ども買春についてのスピーチ	3/30	東京都 港区	3人	45人
	【ひばりが丘バイブルチャーチ】スピーチ、児童労働脱 出ゲーム、GIC	3/31	東京都 西東京市	1人	23人
事務所訪問 対応	世界の児童労働や貧困の現状と解決に向けた FTCJ の活動紹介について説明、スピーチなど実施	21回	FTCJ オフィス (東京)	8人	65人
FTCJ 説明 会 & 活動ヒ ント講座	月一回定期的に、東京オフィスにて児童労働や貧困の 現状と解決に向けた FTCJ の活動紹介などを紹介し、 活動のヒントやコツなどの講座を実施。	12回	FTCJ オフィス (東京)	6人	64人

事業名	内容	作業実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数
ニュースレター発行	NL 29号 特集:元子ども兵士来日 ぼくは5歳で兵士になった。	9月	東京事務所	6人	各号500部 印刷
	NL 30号 特集: FTCカナダより WE DAYレポート	11月			
	NL 31号 特集: ケニア訪問報告	3月			
ホームページ更新・作成	随時情報を更新。リニューアルオープン準備実施。 FTCJweb サイト:1日平均182人程度アクセスあり (クライアント数:66,509/ページビュー:年間総数:432,411/一人当たり6.5ページの閲覧/ファイルダウンロード数:2,992件 (ミシェル関連の教材・映像、TAAC やステイターのチラシなど PDFデータ)) FTCJ だより(外部連動ブログ):1日平均154人程度アクセスあり(一人当たり2つのニュース閲覧)	通年	-	8人	FTCJweb サイト1日平均182人程度アクセスあり FTCJ だより1日平均154人程度アクセスあり
出版	出版した書籍のプロモーション	通年	各イベント等	3人	-
物販	フェアトレード商品や出版物の紹介、それに関する資料作成と仕入れ、販売など。	通年	事務所	6人	子ども、一般

【活動ご協力のご紹介】

◆助成協力:年賀寄附金配分事業(出張講演)、大阪コミュニティ財団(NL発行、子ども記者チーム活動費)、
連合愛のキャンパ(出張講演)

◆ミシェル招へい事業(※法人やグループのみ記載、順不同)

協賛:NTT 労働組合、Wesley Foundation

協力(寄付含):カナダ大使館、児童労働ネットワーク(CL-Net)、NGO 労組国際協働フォーラム、国際労働機関(ILO)駐日事務所、公益社団法人アムネスティ・インターナショナル日本、特定非営利活動法人 Inseki Project、三井生命保険株式会社 PMM サービス事業部、日本アムウェイ(福岡)、株式会社アルク、FTCJ 福岡、UNHCR 駐日事務所

5) 海外自立支援事業 ・ 緊急支援事業

◆事業の目的と役割 ・ 活動内容

目的: 貧困などが原因で権利を奪われ困っている途上国の子ども(支援地域のフィリピン、インド、モンゴルなど)が権利が守られ教育を受けられるよう支援します。

内容: フィリピン、インド、モンゴル、ケニア、ハイチなど途上国の子どもが貧困から解放され自立できるよう支援事業を実施。

<フィリピン支援事業>

FTCJ では、下記2つのフィリピン支援事業を実施しました。

1. プレダ基金 (PREDA Foundation Inc.) 支援

プレダ基金はフィリピン・オロンガポ市にある NGO で性的虐待や刑務所から子どもを保護し支援するなどしている。団体名の PREDA は、Peoples Recovery Empowerment and Development Assistance の略で「人々の回復や発展の支援」という意味。1974 年アイルランド人のシェイ・カレン神父とフィリピン人のヘルモソ夫妻によって設立され「子どもや女性、貧困層の人々を守る」という使命を掲げて活動している。貧困層の自立にむけフェアトレード事業も展開している。過去にノーベル平和賞に 2 回ノミネートされるなど世界的に評価されている。

2. ミンダナオ島先住民族コミュニティ 自立支援

フィリピン南部ミンダナオ島ダバオ・デル・ノルテ州ビナンシヤン・バラングイに暮らす先住民族『ディババウオン族』コミュニティには、幼児 3~5 歳が約 200 人いるが幼児対象の教育施設がないため、フィリピンの義務教育の一環となった就学前教育が実施することができずにいる。子どもの権利条約の 4 つの柱である生存、発達、保護、参加の観点から包括的に子どもの権利を守るためには就学前教育の充実が重要であるという考えから、FTCJ では 2011 年度より幼児教育のための教育施設(デイケアセンター)の建設に取り組み始めた。しかし、2012 年 12 月にこの地域を大型台風 24 号「パブロ」が襲い、近くの川が氾濫し、学校、地域センター、住民の家屋などが壊れ、死者や、怪我人も多数出るなどしたため、食料や生活用品配給をするなど緊急支援も実施した。

事業名	事業内容	実施日	受益対象者の範囲及び人数
プレダ基金支援	プレダ基金で保護されている子ども(少女・少年あわせ約 200 人)への教育、職業訓練、栄養強化、自立支援を実施。また、プレダ基金が販売するフェアトレード商品を購入し貧困層の自立支援に取り組んだ。	通年	保護・支援した少年・少女 200 人
ミンダナオ島先住民族コミュニティ自立支援	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金と、地球市民財団からの助成金を使い、ディババウオン族の就学前教育を行う施設(デイケアセンター)の建設事業に着手しました。当初の計画では 2013 年 3 月に施設が完成する予定でしたが、施設が建設される予定だった土地を巡り他の住民から突如、土地権利を申請する動きが出て、その土地を使うことができなくなりました。そこで、自治体と教育庁と協働し教育庁が管理する土地に、教育施設の建設を行えるよう話し合いを持ち、2012 年 3 月より建設に着工しました。従って、施設の完成は 2013 年 8 月予定です。建設後は公立幼稚園として教育庁の管理の下、幼児教育運営が行われ、午後など空いている時間に地域の親向け(特に母親)の保健衛生教育、職業訓練セミナー、地域の小学校以上の子どもへの先住民族としての文化理解継承教育を実施する予定です。	通年	ディババウオン族の幼児・子ども 300 人
ミンダナオ島先住民族コミュニティ緊急支援	2012 年 12 月に起きた大型台風により、コミュニティは土砂崩れが起き、小学校や家が壊れるなど大きな被害を受けました。また、豪雨により橋が決壊したことにより、周りから孤立し支援物資が届かず、人々は食べるものや着るものがなく、厳しい環境で過ごしていることがわかりました。そこで、コミュニティ内の被災した 300 家族(片親の家族や、高齢者がいる家族含め)に対して、米、魚の干物、卵、マンゴー、砂糖、塩、麺類、いわしの缶詰、石鹸、バケツ、タオルなどの食材と生活用品を支援物資として配給しました。	2013 年 1 月	300 家族

<インド支援事業>

FTCJ では、下記 2 つの地域にて貧困地域の子ども支援事業を行いました。

1. 西ベンガル州の貧困下におかれた子どもの救出・自立支援活動

◆**事業目的**: 貧困が原因で権利を奪われ、児童労働などの過酷な環境に置かれているインド西ベンガルの子どもが、FTCJ の支援を通して貧困状態から助け出し、安心で健康的な子ども時代を送り、自立して生活できるための教育を受けられるよう支援します。

◆**パートナー団体**: Center for Communication and Development (以下 CCD)

<設立経緯・背景>

1978 年に起こった洪水がきっかけとなり被害を受けた人々を支援するため代表のスワパン・マッカージ氏が中心となって設立された NGO。市街地から離れた所に医療診療所 (Medical clinic) を作ることから着手し、学校のない村で学校建設や収入向上プロジェクト (Economic welfare activities) を開始。その後、危険な環境で働く子どもを救出し家族のもとへ返したり保護施設に預けたりする活動を始めた。現在は、CCD 自体が貧困のため家族と共に生活できない子どもや過酷な環境で働く子どもを救出し、子どもたちが安心して生活できるような環境を提供するため養護施設「マクタニール子どもの家」を運営している。そして、FTCJ は、この施設で暮らす少年たちの教育費や食費などをサポートしている。

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
CCD マクタニール養護施設運営事業	手紙を通じて交流しながら子どもを支援する「文通プログラム」を通して集った資金を主な財源として、この施設で生活する子どもが学校に通え、栄養ある食事で健康に暮らせるよう支援しました。支援金は学校に通うために必要な制服や文房具、ワークショップ教材費や、食費に使われました。また、施設では美術や体育などの情操教育を通し、より豊かな心身の発達を育んでいます。	通年	マクタニール擁護施設で生活する 22 人の子ども

2. ラジャスタン州の貧困農村地域の子どもへの支援活動

◆**事業目的**: インドのラジャスタン州ウダイプール周辺ラジャスマンド地方貧困農村地域で生活する子どもたちが、FTCJ の支援を通して子どもの権利が守られ安全で健康な子ども時代を送り、それぞれの環境で自立して生活するのに十分な教育を受けられるよう支援します。

◆**事業実施体制**: FTC ネットワークにより実施 (FTC インドとの連携協力)

◆**支援地域について**

支援事業地: ラジャスタン州ウダイプール周辺ラジャスマンド地方ウダワド村及びバリンド村

支援地背景: ラジャスマンド地方の農村地区に暮らす 75% の人々は未開拓地に住んでいる。これらコミュニティーには様々な少数民族があり、人々は長い間社会から隔離され、取り残されてきた。村は深い森と高い丘に囲まれており、土地は平らではなく、電気やガス、水道などのライフラインは各家庭にひかれていない。灌漑用水も無く土地を耕作する事が困難なため、村人の多くはやせた土地に住んで細々と農業を営んでいる。農業だけでは収入があまり得られないので出稼ぎ労働に従事している家族も多く見受けられる。

支援地課題: 地域特有の問題として、土地の大部分が政府に所有されている事で、25% だけが人々が耕作する為に残されているが、岩と穴だらけ。職不足、水不足及び食不足が続いており、住民は悩まされている。

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
インド農村地域自立支援ー保健衛生支援	2012 年度から保健教育を実施し、村人の保健衛生の知識を高めました。具体的には学校での保健指導、保健意識向上の教科書の配布、家庭訪問を通じた女性の保健教育に対する意識付けを行いました。 助成協力: 草の根市民基金・ぐらん	通年	ウダワド村の子ども 154 人及びその家族 800 人
インド農村地域自立支援ー学校建設支援	株式会社ディアーズ・ブレインのご支援により学校建設事業を行いました。 バリンド村は、学校設備が古く教室が不足していたため、学齢期の子ども 200 人がいるにも関わらず、子どもたちのほとんどが教育を受けられていません。そこで、この地域に新たに学校建設を実施しました。結果、1 つの教室と、衛生的な水が得られるよう水ポンプ、ハーブや野菜が収穫できるようなスクールガーデン、トイレの設置などを行い、学校の環境を整えました。今後は、村人の健康や衛生面の向上のために、ガーデンを利用して、ハーブや野菜を植え、育て収穫する技術を子どもや村人に教えるセミナーを実施します。	2012 年 7 月～ 2013 年 3 月	バリンド村の 300 世帯の人々

<モンゴル支援事業>

1) 図書施設運営事業 : 2008年8月に建設したゲル図書施設の運営を行いました。

◆ **事業目的**: 支援事業地周辺に住む子どもが図書館に来ることで、様々な本が通じて想像力を養い、識字能力を高めることができるようになる。ひいては、自身の夢や希望を持ち実現のために歩むことができるようにする。

◆ **支援事業地**: 首都ウランバートル(UB)市バヤンズルフ地区

ゲルで暮らす人々が多くいるUB市の東に約10KMの車市場近くにある#92学校のとなり(第8地区内)の土地。約3,000人の貧困家庭の子ども(16歳以下)が住んでいる地域で、この地区に住む16歳以下の子どもの4分の3にあたる人数。

◆ **協力体制**: NPO法人アジアの会 代表 高岡良助氏 / 基本的には月曜～金曜まで週5日間を開館運営

2) 洋服支援プロジェクト

◆ **事業内容**: 貧困下で暮らすモンゴルの遊牧民の子どもとその家族に日本で集めた洋服を配布し活用してもらおう。

◆ **協力体制**: アルタンーウルジ・バトエルデ氏とそこご家族の皆様

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
移動図書館設置運営事業	「ゲル図書施設」運営をすることで、モンゴルの厳しい暑さや寒さから身を守り、勉強や交流、安らぐ場所としてゲル施設を機能させました。子どもが読書や勉強など知識を深めることができる場所とするため、図書施設の運営を実施。また、本を読みに来る子どものケア、手洗いうがいの呼びかけ、文字の読み書きレッスン、日本語レッスン、音楽レッスン、算数レッスンなどを実施しました。同時に日本の支援者との文通を通じた交流を実施しました。2012年を通し少ない月で述べ963人、多い月で2,608人もの子どもが本を読みに来て、合計で述べ22,553人の子どもの来館がありました。	通年	支援地に住む3,000人の子ども
洋服支援プロジェクト	首都ウランバートルから片道約850キロ地点にあるアルハンガイにて、貧困家庭の遊牧民の子ども小学生～高校生までが学校に通うために暮している寮を訪問し、子どもとその家族に対し、日本で集めた洋服を配布しました。	2012年12月～2013年3月	アルハンガイの寮にいる子どもと家族80人

<ケニア支援事業>

ケニアの乳幼児や子どもへ健康増進支援

2011年9月に深刻化した東アフリカでの干ばつの被害を受けたケニアの地域を対象に引き続き2012年度も母子保健向上、子どもの健康増進支援に取り組みました。

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
ケニア母子保健健康増進支援	・マサイマラ地区の村に、衛生的な水へのアクセスが可能になるような水支援と灌漑用水路の設置を実施 ・リフトバレー州ナロク県にあるバラカ・クリニックセンターにて、女性(特に妊産婦)や子ども及び乳幼児を対象にした栄養補給(ビタミン、ミネラル補給)、学校管理委員会と協力して、マサイマラやムロット地区のコミュニティの学校での食事配給支援、学校菜園や、一般向けの菜園にて、玉ねぎ、にんじん、ケール、キャベツ、ホウレンソウなどの育成の指導とサポート、栄養強化のための配給プログラムの実施。 寄付協力: JANIC・NGO サポート募金	通年	支援地域に暮らす子どもと家族7000人以上

<ハイチ支援事業>

ハイチの貧困地域での学校建設事業

マリアラパ地域にて、小学校の建設事業に取り組みました。

事業名	事業内容	実施日時	受益対象者の範囲及び人数
ハイチ学校建設事業	4千人ほどが生活するプラトー北部にあるマリアラパという孤立した地域は、政府や外部の援助を得ることができず、9割の人が1日1ドル未満で生活をしています。また、この地域の教育水準は驚くほど低く、男性の80%、そして女性の90%以上は読み書きができないというデータがあります。そこで、FTCでは小学校の建設を行い、子どもたちが基礎教育をしっかりと受けられるよう支援に取り組みました。	通年	支援地域に暮らす子ども200人

【活動ご協力のご紹介】

◆活動費助成協力:

財団法人地球市民財団－フィリピン・ミンダナオ島先住民族コミュニティ 教育支援
 東京都の草の根助成「草の根市民基金・ぐらん」－インド・ラジャスタン州ウダウド村 農村地域保健衛生支援

◆寄付協力:

NPO 法人 Shared Smile Japan (株式会社ディアーズ・ブレイン)－インド・ラジャスタン州バリンド村 学校建設事業支援
 活動助成協力: JANIC・NGO サポート募金 - ケニア・母子保健、健康増進支援

6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業報告

事業名	内容	実施日時	実施場所	従事者の人数
翻訳	事業の運営に関係する資料を日・英に翻訳。	通年	—	30人
研修受講	円滑な組織・事務局運営のため下記の助成を受け研修を受講 ・Panasonic NPO サポート ファンド組織基盤強化事業 ・NPO 会計講座	8～3月	東京事務所	4人
個人情報管理	アクセスのデータを構築デザインし、メンバーや協力者などの個人情報を整理し管理を行った。	通年	東京事務所	6人
問い合わせ対応	eメール、電話、FAX、郵送にて事務局に届く問合せや連絡に対応。対応例: 事務所訪問、出張講演調整、教材や物販の注文、団体など組織からのアンケートへ返答、子ども、大学生、社会人からの質問返答、メンバー希望、団体への質問返答など(子どもメンバー183人、ユースメンバー86人、ボランティアメンバー登録78人)	通年	東京事務所、大阪連絡所	6人
会計	組織の透明な会計のための団体に関する資金の流れを管理し帳簿を付けるなどの業務を実施。	通年	東京	2人
理事会運営・管理	事業を円滑に実施するための理事会の運営。	通年	事務所	11人
その他	事務所運営管理、什器管理など。	通年	事務所	5人

【活動ご協力のご紹介】(敬省略、順不同)

- ◆助成協力: Panasonic NPO サポートファンド
- ◆協力: コンサルタント)

【メディア掲載一覧】 2012年度にメディアで配信されたFTCJの活動やメンバーやスタッフの寄稿による団体紹介です。

メディア配信・媒体名	時期	内容
人権タイムス 機関紙	通年	代表理事・中島早苗による子どもの権利に係わる原稿掲載されました。
高校家庭教科書 2012 生活学 Navi	通年	FTCJの活動が紹介されました。
中学公民教科書ビジュアル公民 2012	通年	子ども兵士や教育を受けられない子どもについての情報提供。
高校英語教科書 UNICORN	通年	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレズントピックとして掲載されています。
高校英語教科書 English Now !	通年	FTCを創設したクレイグ少年の物語がレズントピックとして掲載されています。
中学公民教科書『ビジュアル公民 2012』	通年	児童労働をしている子どもたちの写真と文章を提供しました。
第 67 回日本生物地理学会年次大会プログラム	2012.04.07	「子ども参画による国際協力活動～子どもは世界を変えられるか～」にて、FTCJの団体紹介とFTC創設者クレイグ・キールバーガーについて紹介されました。
東京読売新聞 朝刊	2012.05.22	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。

毎日新聞(東京)	2012.05.31	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
毎日新聞(静岡)	2012.06.10	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
西日本新聞朝刊	2012.06.12	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
中日新聞	2012.06.13	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
朝日小学生新聞	2012.06.17	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
朝日新聞(福岡)	2012.06.17	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
西日本新聞朝刊	2012.06.20	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
Japan Times	2012.06.21	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
AFPBB News	2012.06.24	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
Morgen	2012.06.24	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
クロワッサン	2012.07.25	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
朝日新聞朝刊	2012.07.26	元子ども兵士、ミシェルの講演会の予定が紹介されました。
『イクバルと仲間たち 児童労働に立ち向かった人々』	2012.09.15	児童労働をしている子どもたちの写真と文章を提供しました。
English Journal	2012.10.01	元子ども兵士、ミシェルのスピーチが紹介されました。
ALCOM World	2012.10.01	元子ども兵士、ミシェルのインタビューが紹介されました。
高2講座 定期テスト対応教材 英語(WEB掲載分)	2012年度～ 2014年度	FTCJの団体説明が英文にて紹介されました。
Think the Earth	2013.1.29	チョコレートプロジェクトの活動が紹介されました
J-WAVE ロハスサンデー	2013.2.02	チョコレートプロジェクトの活動が紹介されました
TOKYO FM クロノス	2013.2.03	チョコレートプロジェクトの活動が紹介されました
読売新聞 朝刊 暮らし面	2013.2.04	チョコレートプロジェクトの活動が紹介されました
NHK 総合 首都圏のニュース	2013.2.09	チョコレートプロジェクトの活動が紹介されました
日本テレビ系列 世界一受けたい授業	2013.2.23	元子ども兵士ミシェルが先生役で番組に出演しました。
講談社『読む 知る 話す ほんとうにあったお話 5年生』	2013.02.26	クレイグの FTC 設立までのストーリーが紹介されました。

【インターンご紹介】

2012年は下記のインターンのみなさんが活動を支え担当の事業を担いました。

素晴らしい働きを本当にありがとうございました！（敬称略・順不同）

1. 古橋侑佳 - 子ども活動応援事業(子どもサポート担当)、外部ネットワーク事業(教育キャンペーン、CL ネット)
2. 河本千夏 - アドボカシー事業(フェアトレード、その他物販管理、メルマガ)、海外自立支援事業(文通プログラム)
3. 瀬川愛葵 - アドボカシー事業(イベント運営、スピーカー派遣)
4. 大串佳子 - アドボカシー事業(イベント運営、スピーカー派遣)
5. 佐藤せり奈 - 管理部(広報)、アドボカシー事業(ウェブ、ブログ)
6. 大表玲奈 - アドボカシー事業(ウェブ構築、フェアトレード)
7. 稲葉めぐみ - 資金調達、管理部(広報)
8. 甲野有沙 - 資金調達、管理部(広報)
9. 大沼 翔 - 管理部(データ管理)

その他、2012年も多くメンバーやボランティアさんに支えられて活動に取り組むことができました。いつも活動へのご支援ご協力を本当にありがとうございました。理事及び事務局スタッフ一同心より感謝申し上げます。